



「LLラミフィルムA物性表」

桜井株式会社
販売推進部

1. 一般物性値

基 材	塩ビフィルム（カレンダー）	備 考
基材厚み	70 $\mu\text{m} \pm 5$	デジタルマイクロメーター
粘着剤厚み	25 $\mu\text{m} \pm 5$	
総 厚	95 $\mu\text{m} \pm 10$	
引張強度	$\geq 1.8 \text{ kg} / \text{cm}^2$	ASTM 882
引張伸度	$\geq 100\%$	ASTM 882
光沢度	60度以上（グロス）	
全光線透過率	85%以上	ヘイズメーター（Tt）
紫外線吸収率	90.2%	UV-A

2. 粘着物性

粘着力	24時間	$\geq 11.7 \text{ N} / 25 \text{ mm}$	180° PSTC-1
ラミネート温度		10°C以上（18~25°C推奨）	

3. 耐候性

耐候促進試験	1200時間で著しい 変退色なし	S-W-O-M 散水あり ブラックパ 祓温度63°C
--------	---------------------	-------------------------------

※上記値は、全て測定値であり保証値ではありません。

2012年10月現在

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : LL 光沢ラミフィルム A
 製品番号 : LLGLA138, LLGLA135, LLGLA110

会社名 : 桜井株式会社
 住所 : 東京都台東区池之端 1-2-18 MG 池之端ビル
 担当部門 : 販売管理部
 電話番号 : 03-3827-4300
 FAX 番号 : 03-3827-4321
 制定日 : 2013 年 12 月 20 日
 改訂 : —
 作成日 : 2013 年 12 月 20 日
 版数 : 初版
 整理番号 : QEP020062

2. 組成及び成分情報

成分 :

化学物質名	CAS No.	含有量
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	40～45%
Plasticizer-DIDP(Di Iso Decyl Phthalate) フタル酸ジアルキル(C=6～20)	26761-40-0	10～12%
アクリル成分	35209-54-2	12～15%
ポリエチレン	9804-74-4	25～30%
シリコーン	7631-86-9	0.5～1%

3. 危険・有害性

緊急な危険・有害性情報

分類の名称 : 該当なし
 危険性 : 日常的な取り扱い方法により危険性なし
 燃焼影響 : 燃焼時に塩化水素ガス発生の可能性あり
 有害性 : フィルムに一部重金属が含まれる (Ba, Zn)

潜在的な健康への影響

目への影響 : フィルム片が目に入った場合眼球損傷のおそれがある
 皮膚に対する影響 : 有害性なし
 慢性兆候と症状 : 資料なし

4. 応急措置要領

目に入った時 : フィルム片が眼球を損傷させる恐れがあるため医師の診断を受けること
 皮膚に接触時 : 特別な異状(問題)はないが、必要であれば水で洗うこと
 吸入した時 : 該当なし
 摂取した時 : 直ちに吐かせて医師の診断を受けること
 医師の注意事項 : 症状に合わせて機能的に治療すること

5. 爆発・火災時の対処方法

引火点	: 資料なし
自然発火点	: 資料なし
最低引火限界値／最高引火限界値 (爆発上限値／爆発下限値)	: 資料なし
消火剤	: 小規模火災は、粉末消火剤、二酸化炭素、水 大型火災時は、水噴霧、霧形態または規定泡沫

6. 露出事故時の対処方法

固体フィルム状のため露出の危険はなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	: フィルムのエッジの部分により手の皮が切れることがある ので注意すること
保管方法	: 直射日光、高温多湿な所を避けて冷暗所に保管すること ボイラー等の熱源付近及び可燃物の近くに置かないこと

8. 暴露防止及び保護措置

工学的管理方法	: 成型作業等加熱・熔融をする場合、有効な局所排気装置を 設置すること
呼吸器保護具	: 該当なし
目、手の保護具	: 加熱したフィルムを扱う場合は火災防止耐熱手袋を着用 すること フィルム片が眼球を損傷させる恐れがあるので作業時には 保護眼鏡を着用すること
保護衣	: 加熱したフィルムを扱う場合は火災防止のための長袖服 を着用すること
露出基準	: 資料なし

9. 物理化学的性質

外観	: シート状
におい	: 芳香臭
沸点	: 資料なし
蒸気圧	: 資料なし
蒸気密度	: 資料なし
溶点	: 資料なし
爆発性	: なし
比重	: 約 1.08
pH	: 該当なし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 一般的な保管・取扱い上においては反応性なし
避けるべき条件及び物質	: 熱、スパーク、火花、その他点火源との接触を避けること
分解時生成される有害物質	: 熱分解時に塩化水素ガスが生成される可能性がある
反応時の有害物質発生可能性	: 資料なし

11. 毒性に関する情報

急性経口毒性	: 資料なし
急性吸入毒性	: 資料なし
変異原性影響	: 資料なし
生殖毒性	: 資料なし
発ガン性影響	: 資料なし

12. 環境に対する影響

情報なし

13. 廃棄時注意事項

埋め立てるときは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、公認の産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合にはその団体に委託処理する。焼却は不適

14. 運送に必要な情報

輸送時は、直射日光を避け、水に濡れないようにする。また、熱、火花、スパーク等の点火源との接触を避ける

15. 適用法令

消防法 : 指定可燃物 合成樹脂類
廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他参考事項

記載内容は日常的な取扱い方法を前提にして作成したものであり、特殊な取扱い方法の場合には十分な安全・環境対策を立てた状態で使用してください。記載内容についてはその内容を保証するものではありません。また、新しい知見により改訂される場合があります